



## 異文化と心通わせ

つくば通信

28

村田 佳子



書店や「ファンピ」、「エンス

ストア」に並ぶ雑誌、最近  
は年齢層やライフスタイル  
に合わせて新しいもの  
もずいぶん創刊されてい  
るようだ。男性はま  
り手にとったことがない  
かもしませんが、女性  
ファンション誌はレジに  
持っていくとき、美容院  
などで手に取るとき、そ  
の厚さと重さに驚いて思  
わずもう一方の手を添え  
た方もいるでしょう。そ  
してその内容、ファンシ  
ヨンはもちろん、健康、  
美容、インテリア、旅、  
映画、占いと満載です。最  
近では経済、政治、医療  
に至るまで専門家が登場  
し、質問に答える「コーナー」  
もあります。男性がよ  
く購入する車やスポーツ  
などの専門雑誌と違い、  
一冊の中に幅広い記事が  
凝縮され、一ヶ月楽しめ  
そうなお得感があるのが  
人気の理由でしょうか。  
この傾向はケニアにも  
あるそうです。先日、首

## 健康のパロメーター

話をしあつた。

調を崩し入院をする際

軽い気持ちで読めるファンタジー

三人の優勝志向と美容  
そしてそれなりに  
関する記事が多く  
掲載されてい  
る女性ファッション  
雑誌について かせません。研修生が体  
ではあるところに記  
られるとはじめ、ページ  
をめぐらながらゆづくら  
読むことができる雑誌は  
リラックスする時間に充

都ナショナルから来日した  
研究者の女性と、日本で  
全国的に広がった納豆職  
動の話題から日本人とケ  
ント。この連絡が少なくて、  
でもこじんまりして、お酒も  
品が付録についてくれない  
ともやはり日本と共に  
てはいる」と話しました。  
最近はインターネットで

そんな言書きが多い雑誌が、年々厚さを増し、立ち読みが不可能なほど重くなっていること、そして雑誌によつては香水やファンデーションなどの試供

の男性には何冊かの雑誌の後、「メアリーズ オブ ゲイシャ」という小説をお持ちしました。後に

研修生たちが普段読む英語やフランス語、スペイン語などの雑誌や新聞で

相に、英字新聞、  
これいな写真集を  
ことがあります

肥満による体への悪影響を知り、食事に気をつけたり定期的な運動をしたりする人が増えてきているそうです。理想的な姿勢を手に入れ、キープしたいと多くの人が望むのは世界共通の様子。

ます。衛星放送が見られ  
る病院はまれで、話題相  
手として私がすつとそぼ  
にいるわけにもいきませ  
ん。病室では言葉が通じ  
ないことが多いので一日  
中、情報が閉ざされ孤独  
感と焦燥感を味わいがち

自身の研修の遅れを感じ、して仕事やパソコンを持ち込ませてほしくない医者であると懇願するところがあるのですが、回復までのんびりしたほうがいいとアドバイスされ少々がつかりする場面を目にして

ではどうしたことか語られることはいえ、ページをめぐらながらのついで読むしじがである雑誌はリラックスする時間に欠かせません。研修生が体調を崩し入院をする際、

品が付録でついてくることや、日本と共通していると話しました。

そんな記事が多い雑誌が年々厚さを増し、立ち読みが不可能なほど重くなつてゐるなど、そして雑誌によつては香水やファンデーションなどの試供

なことで必ずしも表情から明るくなるのです。雑誌を読む時間や花を鑑んでの気持ちの余裕、おしゃれをする遊び心があるかどうか、というのもまた健康のバロメーターなのかもしれません。されないと修生たちが教えてもらつたようを氣

ツーション誌やマニキュアなどの化粧品が喜ばれます。「家事や研究をしていくときにはなかなかマニキュアなんてできなかつたから、久しぶり」と治療やそれを薬しみたい、そん

れまた。と同時に「なんだかくそ本を読めたのは久しぶり。のんでりできた」と。

したが、大変気に入って  
くれ、その内容を通じて  
日本の文化の見方が変わ  
つたこと、描写の素晴ら  
さを強く感じた。

の男性には何冊かの雑誌  
の後、「メモリーズ オブ  
ゲイシャ」という小説  
をお持ちしました。後に